



TCA

—NEWS—

Vol. 65 12月号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
C i Cビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会

夏季日本語集中講座 8月3日(月)～8日(土)



開講式の様子



修了証をもって

高校生のための “通訳ガイド(英語)入門夏季集中講座” 8月5日(水)～8日(土)



アリサさん(米国在住大学生)も体験
ゲスト講師 グレグ グルチャー氏
高校生9名参加、自分で原稿の翻訳をして
同時通訳ブースを体験。またグレグ
さんご一家(米国在住)をお迎えし、米
国の高校や大学生活についてお話を聞き
ました。最終日は夏季日本語集中講座の
発表交流会に参加して、日本語を学習す
る外国の人たちと交流しました。

富山まつり「おわら踊り」 8月8日(土)



98名(外国人58名日本人40名)が参加。練習の成果を披露しました。



多国言語文化交流クラス 中国雲南省&中国語 11月14日(土)



講師 王 向栄氏
色彩雲南と題し、美しい自然や少数
民族の文化等についてお話いただき
ました。

夏季日本語集中講座に参加して

Eija Soini (フィンランド)

I joined last summer the Japanese intensive course. As the course's name says, it was very intensive, there were many things we learned within short period of time. For me the course did what I wanted it to do, to motivate me to study more and help me to realize in what particular things I need to focus. Also there was a good chance to ask unfamiliar things from the teacher and have discussions with other students.



特集 国際交流フェスティバル 2009

平成21年11月7日(土)&8日(日) CiCビル内

第1回は1994年10月8日「東アジア国際交流フェスティバル」を韓国、中国、ロシアの駐日一等書記官を迎え実施。1997年(第4回)はもっと多くの国々と交流する目的で、名称を「国際交流フェスティバル」とし、2009年(第16回)を迎えることが出来ました。27カ国、32団体の参加があり、大勢のスタッフの協力のもと盛大に行われました。

(実行委員長 北東俊夫)

中国の笛 (蘭鵬さん)



歌って踊ろう (ピアノの生演奏でカラオケ!)



エランおじさんのケバブサンド



カポエイラ&サンバ (ブラジル)



こども英語プログラム



ブラジル・ポルトガル語のクイズに挑戦



国紹介ブースで楽しく会話中(in English?)



訳文です

夏季日本語集中講座に参加して

エイヤ・ソイニ

私は夏季日本語集中講座を受講しました。コースの名前の通り、たいへん集中した講座であり短時間に多くのことを学びました。コースは私が望んでいたとおりの内容であり、勉強意欲が沸いて、また、どこに重点を置いて学ぶべきかを知ることができました。講師の方にわからないことを聞くよい機会でもありましたし、他の学生と議論をする良い機会でもありました。



飛び入り…でも気分はハワイ！！



小原流・生け花教室



トルコの のび～るアイスクリーム
今年も人気者!!



神妙にお点前の体験中



My Experiences in Japan and The International Exchange Festival at TCA

By Jin-Won Lee

My name is Jin-Won and I have the pleasure of contributing to this month's newsletter. About myself, I've been having an amazing experience in Japan while on a 3-month travel Visa. I flew into Narita about 2 months ago, not knowing what to expect. Although I spent 1 exhilarating week traveling through Tokyo, Kyoto and Nara, my real destination was the quaint sea-side town of Wajima, where my favorite movie "Maboroshi no Hikari" was filmed. Once in Wajima, I explored the Noto fishing communities, hiking along the coast from Wajima to Anamizu. Afterwards, I somehow discovered Toyama, a city surrounded by majestic mountains. It was then that I stumbled upon the Toyama Cosmopolitan Association, where I was introduced to new friends, Nihongo tutors and even my current homestay family. Then, the folks at TCA offered me the opportunity to help out at this year's International Exchange Festival.

The International Exchange Festival is an annual event where foreigners residing in Toyama have the opportunity to share their culture and experiences with their local community. I decided to use the Canada Booth as an opportunity to re-learn about Canada and how fortunate Canadians are to be living in such a diverse, tolerant and safe country. Assembling the picture gallery, I rediscovered the majestic beauty of the west-coast forests, the stark purity of the northern territories, the infinite horizons of the prairies, and the proud history of the maritime communities. While preparing a short history of Canada, I learned about sacrifices of a nation whose humble colonial beginnings led to the thriving, culturally diverse haven that Canada represents today.

The day of the event was filled with excitement as people from various nations came together to set up their booths, straighten their flags and share stories of their experiences with one another. I was fortunate to see an energetic Sanshin-performance, taste local treats from all over the world and learn how to say "Thank You" in 10 different languages. I'd like to thank all the wonderful folks at TCA and my booth-partner (and fellow Canadian), Calen, for contributing his time and much-needed Canadian memorabilia, including a gigantic flag of British Columbia. I have loads of precious memories and I hope that I can participate again next year!

カナダ紹介ブースにて



これまでの行事アルバムより

お菓子作り交流会 9月10日(木)



愛宕公民館

外国人11人(内子供1人)、日本人11人

「フルーツ白玉」「芋ようかん」作りに挑戦。白玉は絹ごし豆腐を入れてこねると、次の日でも固くならないそうです。

ディスカバー富山 9月26日(土)



長慶寺・五百羅漢

外国人 17人 日本人 18人

今年はより現実的な研修をねらって、それぞれの日本人ガイドの案内する館を限定することによって、集中して準備できるようにしたのでよかったと思う。外国人参加者も熱心に質問していたと思う。天気もよく五百羅漢からの市街地の眺めもよく参加者は楽しんでいた。昼食後の異文化理解のディスカッションも盛り上がった。

料理交流会 「からだにやさしいバランス食」 10月1日(木)



富山市中央保健福祉センター 2F栄養指導教室

外国人7人、日本人8人

健康づくりの食事として日本型食生活が注目されている。主食、主菜、副菜を基本にして、必要エネルギーをバランスよく三食に分け、野菜をたっぷりにしたり、調理方法を工夫することで、食生活が改善されることを教わりました。作ったお料理は、野菜たっぷりのあっさりとした味付けのものでした。

富山市総合防災訓練に参加 10月3日(土)



前日の夕方まで暴風雨がつき訓練の実施が心配されていたが、訓練当日の10月3日は快晴であった。早朝にもかかわらず八尾町民広場を会場に44人が参加。(うち外国人は20人。富山大学の留学生も参加。)各言語に分かれて被災外国人市民の受付訓練をはじめ医療テントや煙中体験、起震車両での体験のほか、初めて開設された避難所での集合、伝達訓練など、これまで「多文化共生語学ボランティア講座」で学習したことを実践するよい機会となった。また、ごく一部ではあったが各言語での場内アナウ

ンス訓練にも初参加できた。

災害発生時に外国人市民を受け入れる窓口として、富山市民国際交流協会がボランティアとして対応するためには、会員の意識高揚と技能取得が欠かせない。その観点から今後も「多文化共生語学ボランティア講座」の充実を図り、より多くの会員の積極的な参加が望まれる。今回も各言語リーダーによるきめ細かな準備と指導があって、成果を挙げることができた。

日本での経験と国際交流フェスティバルについて

訳文です

ジン・ウオン・リー

私の名前はジン・ウオンです。今月のTCAニュースに寄稿させていただくことができ光栄です。私自身について言うと、この3ヶ月の間で日本でとても貴重な、素晴らしい経験をしています。何が待ち受けているかわからないままに、2ヶ月前に成田に降り立ちました。東京、京都、奈良と楽しい1週間を過ごしましたが、私の本当の目的地は、私の大好きな映画「幻の光」が撮影された輪島という趣のある海辺の町でした。輪島では、能登の漁村を訪ね、輪島から穴水の海岸線を歩き回りました。その後、どういったわけか、雄大な山々に囲まれた都市、富山を発見しました。そして富山市民国際交流協会を偶然見つけました。そこでは新しい友人、日本語の先生たち、今のホストファミリーに出会いました。富山市民国際交流協会の人々は今年の国際交流フェスティバルへのボランティアとしての関わる機会を与えてくださいました。

国際交流フェスティバルは年に一回開催され、富山に住む外国の人たちが地元の方たちと文化や経験を共有する機会でもあります。私はカナダについて再度学ぶために、そして、多様で寛容で安全な国に住むカナダ人がいかに幸運であるかを再認識するために、カナダの紹介ブースを開くことにしました。写真展示を準備しているときに、私は西海岸の森林の荘厳な美しさ、全く純粋なノーザン・テリトリー、無限の水平線の大草原、海辺の村の語るべき歴史を再発見しました。一方でカナダの少史を紹介する準備をしている間に、悲惨な植民地時代を経て、現代のカナダを象徴する繁栄と文化の多様性を持つ安息の地にいたるまでの国が払った犠牲について学びました。

イベント当日は様々な国から来た人々が、ブースを立ち上げ、国旗を掲げ、お互いの経験を分かち合う中で、会場は熱気に包まれました。幸運にもエネルギーあふれる三味線演奏を聴くことができ、世界中のおやつを味見し、10カ国語の「ありがとう」を学びました。素晴らしい富山市民国際交流協会の方々とブースを共に担当したカナダ人のケーレンが、自分の時間を使って、(プリティシュコロニアの巨大な州旗も含めて、)カナダを象徴するとても大切なものを提供してくださり感謝しています。私はたくさんの貴重な思い出を作り、来年再び参加したいと思っています。

これまでの行事アルバムより

国際交流TCAカレッジ 11月28日(土)



講師：北脇 保之氏（東京外国語大学他言語・多文化教育研究センター長）
「日本の外国人受入れ政策の現状と課題」

今年度のTCAカレッジは東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター 北脇保之センター長をお迎えし、「日本の外国人受入れ政策の現状と課題」についてお話を聞きました。一般の方等約50人が参加しました。外国人受入れの歴史をお話されたあと、最近の国の動きとしての、日系ブラジル人に対する緊急対策、新たな在留資格制度の説明がありました。また、政府の動きや、外国人集中都市会議の開催等自治体の動き、および今後の課題についてお話いただきました。

北脇講師のプロフィール

1974年東京大学法学部卒業。1981年米国コーネル大学政治学修士号取得。
1974年-1995年自治省勤務。1996年-1999年衆議院議員。
1999年-2007年浜松市長。2001年に「外国人集住都市会議」を提唱。
2007年より東京外国語大学教授（現職）。
2008年より東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター長。専門は移民政策。

英語スピーチと討論の会



8月11日(火)

講師：グレッグ・ゲルチャー氏（米国アイオワ州在住 モーニングサイド大学准教授）

"Israel's Gaza Incursion and the Limits of Middle East Peace"

大学教授はしばしば象牙の塔にこもりがちだが、もっと積極的に自らの専門知識を元に様々な問題について大衆に向け発信していくべきだ。現在、そうした議論すべき問題の一つは中東問題だ。昨年末から1月半ばにかけてイスラエル軍がガザに侵攻した際に、医師としてガザ地区で医療救援活動に従事した友人がとった貴重な写真を中心に現地の惨状を紹介。攻撃の対象になったのは軍事施設やハマス指導者だけでなく病院やアパートなども多く被害を受けた。ガザ地区では14歳未満が人口の45%を占めることから、数千人に上る死傷者の中には多くの子供が含まれた。1967年の「6日戦争」などを経て、ヨルダン川西岸とガザ地区のパレスチナ人はイスラエルの占領下に入ってから、40年以上にわたって激しい確執が続いている。パレスチナ側ではアラファト議長が率いるファタハ党が長年指導権を握っていたが、政府の腐敗にあきあきした民衆によって、2006年の議会選挙では社会福祉活動に貢献しているハマスが多数を占めるようになった。その後、両国の「報復の連鎖」は更に悪化し出口が見えなくなっている。この問題解決に今必要なのは国際的なアプローチだ。従来、中東平和に深く係わってきた米国は時としてイスラエル側に傾きすぎると見られていることから、米国だけでなく他の国々も含めたアプローチが必要だ。英国やフランスのように中東を支配した歴史もなく、軍事的な脅威と見られることのない日本こそ中東平和に向けた外交活動に積極的に取り組んでいくべきだ。イスラエル・パレスチナの2国家共存に向けて双方が譲歩する必要がある。特にパレスチナの若者、特に失業率が40%以上に上るガザ地区の若者に「生き甲斐」を与え、経済的な安定を図ることで、イスラエルの安全が保障され、他のアラブ諸国との関係樹立につながるはずである。



9月8日(火)

講師：永田円了氏

"Zen And Creativity"

小さな水滴に全宇宙を覚る。真理を外に求めるのではなく、自らの内に求める。つまり自己の内にある。この世の中は妄想、雑念に満ちている。その中でどう生きるべきか、それは「今」を大切に生きることが重要なのです。今出来ることをやるだけなのです。

色即是空、空即是色

人生は思ってもみないことの連続。だから生きていくことは苦なのです。解決できないものもたくさんあります。ならば無理に解決しようとせず放っておけばいい。それが苦しい道を歩いていく知恵でもあるのです。仏教とはある禅僧が言うに、それは「うばすて山に向かう母親の心境」といわれているそうです。

10月13日(火)

講師：平田みずほさん（当協会会員）

"My casual thoughts on "Life and Death"

平田さんは砺波市生まれの青年医師、井村和清氏の遺稿「飛鳥へ そしてまだ見ぬ子へ」、米国アカデミー賞を受賞した映画「おくりびと」、ヒット歌唱「千の風になって」の三つを題材に、「生と死」をテーマとして、最近思うところを語られました。その後参加者全員でディスカッションを行いました。何しろテーマが大変重くて難しいものでしたので、何らかの結論を出すまでには到底至りませんでした。しかしながら私たちの人生にとって大変重要なテーマだったので、全員真剣に話し合いました。

11月10日(火)



講師：ジン・ウォン・リー氏

"How to prevent the increasing rate of suicides in Japan."

どういふものかこの所、深刻な話題が増えているのも経済問題に端を発する社会の不安定さの反映でしょうか。単純には解決のつかない問題で、参加者はただそれぞれが思うところを話し合うだけでしたが、宗教的な観点から意見が出されたり、武士道と関連が述べられたり、リーさんの用意周到にまとめられた準備資料のおかげで、深く突っ込んだ話し合いが出来たことは大変良かったと思います。英語でこのように内容のある話し合いがもてたことを、大変嬉しく思いました。

お知らせひろば

これからの行事予定

お申し込み・お問合せは当協会まで

TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行事	日時		ところ	担当委員会	会費	対象
書道 色紙を書こう	12月13日(日)	13:00~15:00	当センター	文化交流	200円	会員・外国人
年忘れパーティー	12月20日(日)	午後	当センター	ボランティア	100円	会員・外国人
多文化共生語学ボランティア入門講座⑤	12月26日(土)	13:30~15:30	当センター	---	---	会員・一般
日本語クラス(新春コース)入門(毎週水曜日)開講	1月13日(水)	10:30~12:00	当センター	---	2,700円 +テキスト代	外国人
日本語クラス(新春コース)初級(毎週金曜日)開講	1月15日(金)	10:30~12:00	当センター	---	2,700円 +テキスト代	外国人
多国言語文化交流クラスエジプト&エジプトアラビア語	1月16日(土)	15:45~17:15	当センター	国際教養	200円	会員・一般
新春国際交流のつどい2010	1月17日(日)	14:00~16:00	CiC5F 多目的ホール	合同	日本人(会員)1,000円 外国人500円	会員・外国人
多文化共生語学ボランティア入門講座⑥	1月23日(土)	13:30~15:30	当センター	---	---	会員・一般
もっと知ろう世界の暮らし	未定	13:30~15:00	当センター	文化交流	無料	会員
スポーツ交流会 ボーリング	2月7日(日)	10:10~14:00	富山地铁ゴールデンボウル	文化交流	500円	会員・外国人
海外研修	2月9日(火) ~14日(日)	---	マレーシア	姉妹友好都市	10万円程度	会員
富山大学留学生ホームビジット	2月6日(土)	10:00~17:00	---	ボランティア	---	---
料理教室	2月18日(木)	10:00~13:00	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
日本語ボランティア登録者研修会	3月13日(土)	10:30~12:30	当センター	---	非会員200円	会員・一般
私たちの活動説明会	3月14日(日)	14:00~15:00	当センター	---	無料	会員・一般
もっと知ろう世界の暮らし	3月	13:30~15:00	当センター	文化交流	無料	会員
中国語集中講座	3月上旬	未定	当センター	国際教養	---	会員・一般

行事につきましては、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp> でご確認いただくか、協会までお問い合わせください。

☆新春国際交流のつどい2010

日時：平成22年1月17日(日) 14:00~16:00
場所：CiC5F多目的ホール
国際交流フェスティバル「カラオケ大会」での優勝ペアの歌声が聞けますよ~♪
抽選会では特等賞に”折り畳み自転車”が！

☆ホームビジット受入れ家庭募集

富山大学留学生センター日本語研修コース
受講生ホームビジット受入れ家庭募集
日時：平成22年2月6日(土) 10:00~17:00
募集家庭 3家庭(各家庭2名ずつ) (先着順)
*詳細については事務局まで

☆海外研修「マレーシア」

追加募集してます！
マラヤ大学での日本語を勉強している学生の方々と
の交流会もありますよ。ぜひ参加してみませんか。
期間：平成22年2月9日(火)~14日(日)まで

☆日本語クラス新春コース(全10回)開講のお知らせ

入門クラス 毎週水曜日
平成22年1月13日(水) 10:30~12:00
初級クラス 毎週金曜日
平成22年1月15日(金) 10:30~12:00
受講料 全10回一括払い 2,700円(テキスト代別)

☆私たちの活動説明会

日時：平成22年3月14日(日) 14:00~16:00
ご友人お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

☆3月の英語通訳・ガイド実践クラス

日時：平成22年3月27日(土) 10:00~15:00
観光地での実地訓練です。
日ごろの成果を試してみませんか。

おめでとうございます！！

平成21年度 富山市表彰(教育文化功労賞)
小川 弘副会長

平成21年度 とやま国際草の根交流賞
日本語教師会ゆうゆう
代表 原 和子

編集後記

街中には綺麗なイルミネーションの灯りが、キラキラとしています。
年の瀬のあわただしい時間の中でもウキウキした気分させてくれます。
皆さんは何かワクワクする物を見付けましたか？
今年も残りわずかですが、まだまだドキドキするものを見つけようと思っています！

広報委員会